

## 第12回 日本ユング心理学会（JAJP）研修会のご案内

主催：日本ユング心理学会

日時：2025年9月14日（日）12：00－16：45

会場：京都リサーチパーク（京都市下京区中堂寺南町134） / Zoom

### ご挨拶

すでにご承知の通り、当学会では、2012年4月の設立と同時に「認定心理療法士」資格の認定を開始し、以降、すでに64名の方がこの資格を取得されました。

この資格の創設は、それぞれの学会が認定する専門資格の役割が今後増すであろうという予測のもとで、ユング心理学に基づく心理療法家の育成・認定を目指すものです。またユング派分析家資格の要件のほぼ半分にあたるもので、手の届きやすい資格であると同時に、将来の分析家資格取得にもつながるものです。

2014年度より、本学会資格研修委員会では、会員の方々の参加を優先させつつ、心理臨床を実践しておられる方々にも広く門戸を開き、臨床の質を高めていくための研修機会を提供することを目的とし、第12回日本ユング心理学会研修会を企画いたしました。

内容といたしましては、本学会認定心理療法士資格をもつ講師による、理論と技法、双方の面でユング心理学の「基礎」を学ぶ分科会と、特定のテーマを設定した「事例検討」の分科会となっております。今年度も、オンラインでの聴講も選択可能といたしました。

奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2025年8月吉日  
日本ユング心理学会  
資格研修委員長 河合 俊雄

### <開催要領>

1. 定 員：オンサイト参加者 150名  
オンライン参加者 無制限

会場に直接来場いただく「オンサイト」参加と、Zoomを使用した「オンライン」参加が選択可能な混合開催といたします。

2. 参 加 資 格：以下の条件のいずれかを満たす方

- ①日本ユング心理学会会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

3. 参 加 費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円

4. 研 修 内 容：以下の6グループに分かれ、分科会を行います。

セッションⅠ（12：00-14：15）/セッションⅡ（14：30-16：45）

## (1) セッション I (12:00-14:15)

### ● 〈事例検討1〉河合 俊雄（京都こころ研究所／京都大学名誉教授）

#### 【プレイセラピーにおける10歳の課題】

自意識を確立して自分を形成し、同時にチャムシップなどで他者と関係を持てるようになるという10歳の課題は非常に重要で、大人の心理療法でもよく問題になる。逆にそれがより年少の場合にテーマになっていることがあり、小1～小4までのプレイセラピーの事例を検討しつつ、10歳の課題や、乳幼児期や中年以降とは異なる分離と結合について考えたい。

事例発表者：長谷川千紘 氏

### ● 〈事例検討2〉足立 正道（足立分析プラクシス）

#### 【個人的共感と非個人的共感】

ユング心理学を学ぶプロセスにおいて、目の前の来談者個人の情緒的体験に寄り添う個人的な共感と同時に非個人的な共感とでも言うような別の次元の感性が展開していくように思われる。しかし、前者が悪で後者が善であると言うような単純な話でもなく、後者の分化や前者の再評価などが同時に進んで行くものと思われる。こうした綾について事例検討を通して学ぶ機会としたい。

〈事例募集〉 描画、投影法検査、夢といったイメージ表現を含む事例を募集します。

### ● 〈基礎1〉田熊 友紀子（代官山心理・分析オフィス）

#### 【ユング派心理療法の面接室の内と外：「容器」としての治療構造を考える】

ユング派心理療法では、面接室をレトルトのような密室空間とすることで非日常の時空間を創出し、そこで心理的変容（治癒）が生じるプロセスを大切にします。

一方で実際の臨床場面では、面接室の外での対応、面接時間外でのメールや電話での相談、あるいは関係者との連携など面接構造の外で対応を迫られる出来事にしばしば出くわします。アウトリーチやベッドサイドなどそもそも面接室や時間枠という構造がないかもしれません。そのような実際場面での留意点や可能性をユング心理学の基礎をふまえて考えたいと思います。

〈事例募集〉 事例を発表して下さる方を募集します。

## (2) セッション II (14:30-16:45)

### ● 〈事例検討3〉桑原 知子（京都大学名誉教授・放送大学特任教授）

#### 【「学校の間という“面接室”」でおこっていることを考える】

学校（や心理臨床がおこなわれる現場）では、相談室と呼ばれる固定された面接室だけでなく、より広く、学校全体を“面接室”として考える必要があるケースが増えているように思います。今回のセッションでは、「学校の間という“面接室”」でおこっていることが、どのように心理学的に理解できるのかを検討してみたいと思います。

〈事例募集〉 事例を募集します。プロセスをもった事例報告でもいいですし、エピソードのような形式の報告でもかまいません。狭い意味での「面接室」を超えた理解を迫られるような事例であれば、どのような場でおこなわれたものでもかまいません。

● 〈事例検討4〉 田中 康裕（京都大学大学院教育学研究科）

【心理療法における夢の内在的理解について】

夢分析とわざわざ設定せずとも、心理療法場面で夢が報告されることはよくある。さらに、それが事例の展開において重要だったり、クライアントを理解する新たな契機になったりすることも多い。この分科会では、このような心理療法場面で報告されるクライアントの夢をいかにして内在的に、すなわち、夢の側からアプローチするかについて、実際の事例を通して検討したい。

〈事例募集〉夢が報告された事例を複数募集します。

● 〈基礎2〉 前川 美行（東洋英和女学院大学人間科学部）

【夢を聞くこと、描画を読むこと】

夢を語ることはある情景を人に伝えることであり、意外に難しいものです。うまく語れない人やうまく語れない夢も様々な情景を表現しています。たった1行の表現でも豊かな世界を表現することもあります。どのように聞いているのでしょうか。また、風景構成法などの描画はどのように読むことができるのでしょうか。心理療法の中でイメージをどのように聞き、読んでいるのかについて、基本的な文献を紹介しながら考えてみたいと思います。

〈事例募集〉夢や描画などの表現のあるケースを募集します。

5. 研修ポイントについて

セッションⅠおよびⅡの両方に参加した方には、日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通り、ポイントが付与されます。

6. 参加・発表お申込みについて

【参加申込】

- 1) 参加申込フォームに必要事項をご記入ください。

当会ホームページ（<http://www.jajp-jung.info/>）および右記のQRコードのフォームよりお申し込みください。

申し込みが完了しましたら自動返信メールが送信されます。

- 2) 自動返信メールの内容をご確認の上、参加費をご納入ください。

お振り込みの際には、必ず参加者ご本人の名義でお手続きいただき、自動返信メール内に記載されている【受付番号】をお名前の前に必ずご記入の上、お振り込みください（例：001 ユングタロウ）。

※迷惑メールの設定によってはメールが届けられない場合があります。参加に関するご案内はすべて申込のメールアドレス宛に行いますので、あらかじめ事務局メールアドレスおよび【[autoreply@kintoneapp.com](mailto:autoreply@kintoneapp.com)】の【受信許可登録】またはドメイン指定受信で【[jajp-jung.info](http://www.jajp-jung.info/)】と【[kintoneapp.com](http://www.kintoneapp.com)】を許可するように設定してください。

※24時間以内に自動返信メールが届かない場合は事務局までご連絡ください。

※当日参加受付はございませんので、期間内にお申込みください。

※納入された参加費は返金できませんので、予めご了承ください。

※納入期限を過ぎて参加費の納入がなかった場合、申し込みを取り消させていただく場合がありますのでご注意ください。

お申込み



振込先：三井住友銀行 備後町(びんごまち)支店

普通 1795872 日本ユング心理学会

## 【事例発表申込】

参加申込フォームよりお申込みください。発表を希望する分科会と「事例発表を希望する」を選択いただき、事例概要などの必要事項にご記入ください。

- ・ 事例発表者は原則オンサイトでの参加となります。
- ・ 発表は Zoom を使用し、WEB カメラをオンにした状態でおこなっていただきます。
- ・ 発表に使用するパソコン等のデバイスをご持参ください。Wi-Fi 接続環境をご用意しております。(有線 LAN 接続をご用意できる場合もあります。)
- ・ オンライン参加者への資料は、事務局が Google ドライブにアップロードし、当日チャットにて参加者に URL をお知らせいたします。なお、回収資料の場合は、ダウンロード・印刷の禁止制限をかけた上で配布し、終了後は閲覧できないように削除いたします。
- ・ レジューメ (Word 等の文字資料) がある場合、画面共有のみでは画質や画面の大きさ等によって閲覧に支障がありますので、参加者に配布させていただきます。
- ・ 発表に際して使用できる映像機器は、液晶プロジェクターのみです。
- ・ PC とプロジェクターとの接続は、原則デジタル出力 (HDMI) となります。mac やタブレット PC をご使用の方は、変換アダプタもご持参ください。

\* **発表申込**締め切り : 2025 年 8 月 25 日 (月)

\* **参加申込**締め切り : 2025 年 9 月 3 日 (水)

\* **参加費納入**期限 : 2025 年 9 月 5 日 (金)

## 【その他、注意事項等】

- ・ 申し込みと諸費用のお振り込み、および秘密保持に関する誓約書の提出が当方で確認でき次第、参加手続きが完了となります。
  - ・ お申込み受付は、原則として先着順となります。
  - ・ 事例検討の分科会は、日本ユング心理学会会員を優先して受付いたします。
  - ・ 会場の定員数により、ご希望の分科会にご参加いただけない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
  - ・ 申込者本人のみ、ご参加可能です。
  - ・ 各分科会の教室、参加用リンク等については後日メールにてお知らせいたします。
- ◆オンサイト
- ・ 名札 (参加証)、領収書等を当日受付時にお渡しします。名札は研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。
- ◆オンライン
- ・ 研修証明書、領収書は研修会終了後にメールにて送付いたします。送付までにお時間を頂戴いたしますのでご了承ください。研修会終了後 1 ヶ月を過ぎても届いていない場合は、事務局までお問い合わせください。

## 7. 研修会に関するお問合せ先

日本ユング心理学会（JAJP）事務局

住所：〒541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-6 新元社内

e-mail：office@jajp-jung.info

## 8. 会場案内

京都リサーチパーク 1号館

住所：〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134

京都駅より JR 嵯峨野線（山陰線）2 駅

丹波口駅下車 西へ徒歩 5 分

※その他のアクセスについては、京都リサーチパークホームページをご参照ください。

URL： <https://www.krp.co.jp/access/>

